

ハクビシンの生活被害でお困りの皆様へ

ハクビシン（白鼻心・白鼻芯）



- ・額から鼻にかけて白い線
- ・細長い体系・細いしっぽ
- ・顔と足が黒っぽい

近年、民家の天井裏や床下、物置といった場所にハクビシンが棲みつき、騒音や糞尿などに関する相談が多く寄せられています。

ハクビシンを放置すると、天井板が変色してシミになったり、異臭を発したりします。ハクビシンによる生活被害を防ぐには、以下の対策が有効です。

原則として、野生動物を許可なく捕獲することはできません。まずは、自衛策をお試しください。



対策1 エサとなるものを自宅の周りに放置しない

ハクビシンは雑食性で、果実や野菜、小動物、昆虫などを食べます。



対策2 侵入口となる隙間をふさぐ

ハクビシンが屋根裏に棲みつく建物には、必ずどこか侵入口があります。ハクビシンは頭が入る隙間があれば侵入しますので、縁の下や換気口、軒下などの隙間をふさいでください。市では侵入口の調査や工事は行っておりません。専門の業者にご相談ください。



対策3 周囲の樹木を剪定する

ハクビシンが屋根裏に侵入する際に、樹木などから建物に飛び移るルートが想定されます。建物に接した樹木の剪定を行うようにしましょう。



対策4 市販されている「くん煙殺虫剤」「木酢液（もくさくえき）」で追い払う

ハクビシンは臭いに敏感な動物のため、家に棲みついた場合は、ホームセンターなどで購入できるくん煙殺虫剤、木酢液（ ）で追い払う方法が考えられます。

木酢液は木炭を作る際に出る水蒸気を冷やした液体です。揮発性（きはつせい）が高いためペットボトルに穴をあけたものなどに入れての利用をおすすめします。



フタや上部に錐（きり）などで穴をあける

けがをしないように十分にご注意ください。

木酢液を適量入れてハクビシンの通り道などに設置してください。

個人が所有する家屋で、上記のような対策をしても効果がない場合には市にご相談ください。

中央・南区にお住まいの方：水みどり環境課 電話 042-769-8242

緑区にお住まいの方：緑区役所区政策課 電話 042-775-8852

